

法人（事業所）理念		こころから笑顔で											
支援方針		子どもたちの未来を支援するセカンドハウスとして、自分の気持ちを表現できる安心感のもと子どもたちの思いと成長に寄り添います。											
営業時間		9時		0分から		18時		0分まで		送迎実施の有無		あり	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・視覚的な教材を用いて、手洗いやトイレ、荷物の整理などの生活スキルを楽しみながら身につけられるように支援します。 ・定期的な通所状況を生かし、健康状態について意思表示の難しい子どもの変化にも気づけるよう観察・支援をします。 ・子どもの発達段階や特性に合わせたレイアウトを工夫し、遊びに集中できる環境を整えます。											
	運動・感覚	・体全体を使った粗大運動や指先を使うような微細運動、また体の各所や感覚を連動させる協調運動などを特性に合わせ組み合わせ合わせた支援をします。 ・音楽に合わせてたり、子ども自身が楽しんで体を動かせる活動を意識し、遊びを通して発達を促します。 ・視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚を認知特性に合わせて活用できるよう支援します。											
	認知・行動	・活動スケジュールを用い、自己決定を経ながら見通しをもって過ごせるように支援します。 ・創作活動やブロック遊びなどから空間、時間、数、大小、色などの概念形成につながる支援をします。 ・子どもの持つ認知や感覚の偏りを理解し、特性に合わせた関わりをします。											
	言語コミュニケーション	・子どもの成長段階に合わせた表現ができるよう促し、受け入れてもらえる安心感のもとコミュニケーションを楽しめるように支援します。 ・非言語コミュニケーションが円滑にできるように視覚的なツールを活用して支援します。 ・読み書きの習得を支えつつ、パソコン等、特性に合わせたコミュニケーションツールも活用します。											
	人間関係社会性	・安心して過ごせる人間関係の構築のため、受容を意識し自己肯定感が高まる関わりをします。 ・自分の気持ちを表出できるよう支援し、また身近な人たちの表現も受け入れられるよう寄り添い、よりよい人間関係を築く手助けをします。 ・集団に参加するために必要なスキルが身につくよう支援します。											
家族支援		・子どもの発達状況について日々、情報共有を行い、相談援助をします。 ・子どもの利用を通じたレスパイトケアをします。						移行支援		・移行支援会議を活用し、関係機関との情報共有を行います。 ・支援内容の情報を関係機関に提供し、連携します。			
地域支援・地域連携		・地域の福祉団体に所属し、地域活動に積極的に参加します。 ・障害者地域自立支援協議会に参加し、地域課題の改善に取り組みます。						職員の質の向上		・毎月の社内研修において専門性向上に努めます。 ・近隣の他事業所とも連携し、地域の支援力向上に努めます。			
主な行事等		クリスマスなどに高齢者施設との交流行事、節分・ひな祭り・夏祭りなど季節ごとの行事、図書館訪問、体育館や児童館訪問、昼食やおやつのクッキング、地域の公共施設に創作物の展示、地域のゴミ拾い、季節の工作、クイズ大会など。											